

大島 蓼太(おおしま りょうた)

資 料

短冊『よの中は 三日見ぬ間に 桜かな 蓼太』

作 者

1718(享保 3)－1787(天明7). 9. 7

信濃(長野県)伊那郡大島生まれ。

服部嵐雪門の雪中庵2世桜井史登に俳諧を学ぶ。雪中庵3世を継ぎ、其角系江戸座と勢力を競う。芭蕉への回帰を試み、平明な炭俵調の句を詠む。

参考文献

『金沢行』(雪中庵蓼太／著 1947(写)

[地域 K93. 17／3(50379866)])

『蓼太全集』(博文館(俳諧文庫 第17編) 1899

[県立 911. 308／4／17(11946811)])

『俳句講座(3)俳人評伝(下)』(明治書院／編・刊 1959

[県立 911. 308／6／3(11946928)])

